

取引のリスク

クリック365 クリック365ラージ

「クリック365」には、主に以下のリスクが存在します。投資を行う際にはこれらのリスク及び「クリック365」取扱業者より交付される契約締結前交付書面等の書面の内容を十分理解した上で、ご自身の判断でお取引を行うようにしてください。なお、以下に掲げるリスクは、「クリック365」での取引に生じる全てのリスクを示すものではありません。

価格変動リスク

取引対象である通貨の価格の変動により損失が生じることがあります。さらに、取引金額がその取引について顧客が預託すべき証拠金の額に比して大きい場合、相場の状況によっては差し入れた証拠金以上の損失が発生する可能性があります。

コンバージョンリスク

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく、円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります(コンバージョンリスク)。

金利変動リスク

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、または支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずに、スワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

流動性リスク

「クリック365」では、マーケットメイカーが買呼び値及び売呼び値を提示し、それに対して投資家がヒットをして取引が成立する方式を取っています。そのため、状況(天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等)によって、マーケットメイカーによる買呼び値や売呼び値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができない等、投資家にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされる等の特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができない等の不利益を被る可能性があります。

信用リスク

「クリック365」においては、投資家の取引を受託する「クリック365」取扱業者に対し金融取が取引の相手方となる「清算制度」を導入しており、投資家の証拠金は、全額金融取が分別管理しているため、原則として全て保全されます。しかし、「クリック365」取扱業者の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、取扱業者が破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他の不測の損失を被る可能性があります。

システム障害リスク

金融取及び「クリック365」取扱業者のシステム、または投資家、取扱業者、金融取の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合等には、相場情報等の配信、注文発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失を被る可能性があります。

税制・法律等の変更リスク

税制・法律またはその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

 株式会社 東京金融取引所
金融取

東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング8階

TEL 03-4578-2400 URL <https://www.click365.jp/>

FAX 03-3212-5780 E-mail info@tfx.co.jp

907102

クリック365 入門ガイドブック

～安心・透明・信頼の取引所FX～

取引所FX

クリック365

クリック365ラージ

 金融取

株式会社 東京金融取引所

東京金融取引所とは？

P1

東京金融取引所とは？

金融取は、金融商品取引法に基づき市場開設の免許を受けた取引所！

株式会社東京金融取引所(略称:金融取)は、金融商品取引法に基づき市場開設の免許を受けた公的な取引所(金融商品取引所)です。金融デリバティブの総合取引所として、現在、金融デリバティブの三大分野である、「為替」、「株式」、「金利」すべてをカバーする商品を取り扱っています。

また、金融取は、金融商品債務引受業の免許を受け、清算機関としての業務も行っています。金融取で行われる取引は清算機関である取引所(金融取)が取引の相手方となり、清算参加者との間で資金決済や証拠金の授受を行うことで、取引の相手方に対するリスク(カウンターパーティリスク)が大幅に軽減されます。

金融取は、金融商品取引に係る公的なインフラとして、公正性、信頼性、利便性に優れた金融商品市場を整備し、わが国金融・経済の健全な発展に貢献してまいります。

1.FX取引(外国為替証拠金取引)の特徴

P2

- 1 外国為替市場の仕組みを知ろう
- 2 FX取引(外国為替証拠金取引)とは
- 3 FX取引の決済方法(差金決済)
- 4 レバレッジ取引
- 5 スワップポイント
- 6 買いからも売りからもはじめるFX取引
- 7 ロスカット取引

取引シミュレーション

2.取引所FX「くりっく365」の特徴とメリット

P7

くりっく365 **くりっく365ラージ**

- 1 店頭FXとの違い
- 2 「安心・透明・信頼」の「くりっく365」
 - 安心
 - 厳格な資格要件を満たした取扱業者を選定
 - 投資家の証拠金は金融取が全額保管し分別管理
 - 透明
 - 透明な価格提供のメカニズム(投資家が実際に取引できる数量も明示)
 - スワップポイントは受取額と支払額が同額(一本値)
 - 信頼
 - 公的な取引所が運営する『我が国唯一の取引所FX』
 - 高い約定力(約定拒否・スリッページなし)
- 3 「くりっく365」の取引振興策(手数料の無料化を実現)
- 4 「くりっく365ラージ」

3.「くりっく365」の概要

P11

くりっく365 **くりっく365ラージ**

- 1 通貨ペア・取引時間
- 2 休業日・証拠金基準額・レバレッジ倍率・税制
- 3 「くりっく365」の取引をはじめるには



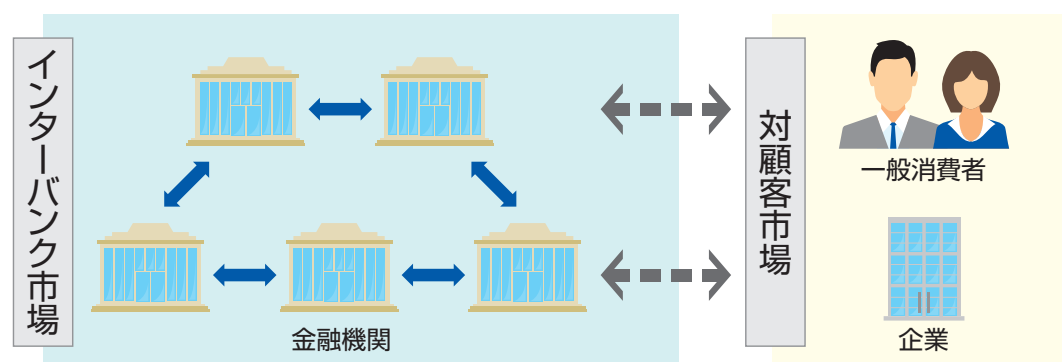
1. FX取引(外国為替証拠金取引)の特徴

1 外国為替市場の仕組みを知らう

世界中で24時間動き続ける市場

通貨を買いたい人、売りたい人が取引する市場を「外国為替市場」と呼びます。東京、ロンドン、ニューヨーク等の主要都市に外国為替市場があり、24時間世界中のどこかで取引が行われているため、為替レートは常に変動しています。外国為替市場には、インターバンク市場と対顧客市場の2つがあります。インターバ

ンク市場とは、銀行や証券会社等の金融機関が参加する市場です。対顧客市場は、金融機関が個人投資家や事業法人等といった顧客を相手に売買を行う市場で、銀行の窓口等で円を外貨に交換(両替)することも含まれます。FX取引はインターバンク市場の為替レートを参照した価格で取引されています。



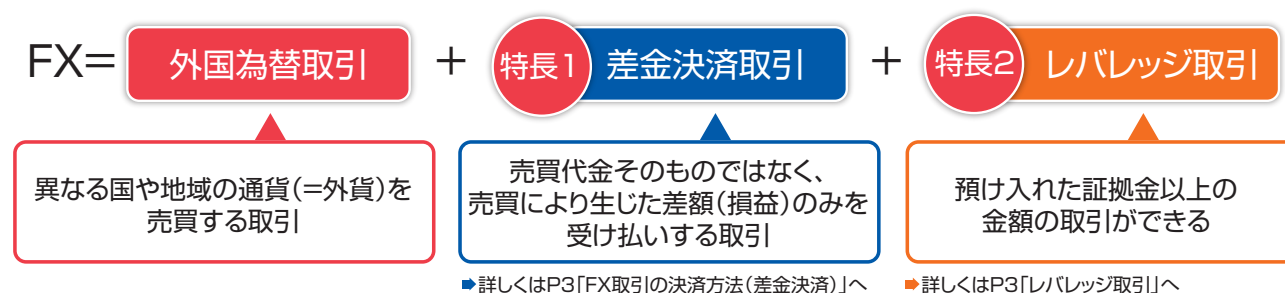
2 FX取引(外国為替証拠金取引)とは

差金決済とレバレッジ取引

FX取引とは、「外国為替証拠金取引」ともいい、米ドルやユーロ等の通貨(外国為替)を売買する金融商品で、主に個人投資家を対象とした取引です。

FX取引は、売買の都度、代金そのものを受け渡すのではなく、決済時に売買により生じた差額(損益)のみを受け払いする「差金決済」が大きな特長です。

また、FX取引は、証拠金と呼ばれる投資資金(担保)を取扱業者に預け、この預け入れた証拠金以上の金額の取引を行うことができます。これを小さな力で大きなものを動かす「てこ(=レバレッジ)」に見立てて、「レバレッジ取引」といいます。



3 FX取引の決済方法(差金決済)

売買の差額だけを決済

通常、外貨を購入する場合は代金を支払い、売却する場合は代金を受け取ります。

一方、FX取引の「差金決済」とは、代金の受け渡しは行わず、新規に外貨を買い(売り)、その後、買った外貨を売る(買う)反対売買によって、売買価格の差額(利益や損失)のみを決済します。

新規に外貨を買う(売る)取引を「買い(売り)建玉(たてぎよく)を建てる」といい、この状態では資金決済は行われません。この建玉を反対売買により解消(これを「建玉を決済する」といいます)したとき、生じた差額のみが資金決済されることとなります。

4 レバレッジ取引

レバレッジ(てこ)効果で資金効率の高い取引ができる

FX取引では少額の投資資金により、多額の外貨を売買することができます。取引をするための担保となる投資資金を「証拠金」といいますが、想定元本(為替レート×通貨単位)の4%(※)以上の証拠金が必要と

なります(必要証拠金)。これによりレバレッジを効かせた取引をすることができます。つまり、最大のレバレッジは、 $\text{想定元本} \div \text{必要証拠金} = 25$ 倍となります。

(※)個人投資家に適用される証拠金率は想定元本の4%を下限としていますが、法人投資家は取扱業者が採用する証拠金基準額の算出方法により、必要証拠金が想定元本の4%を下回る場合があります。

具体例 ▶ 米ドル/円の取引単位は1万通貨単位、1ドル100円で米ドルを1枚購入する場合

想定元本 $100\text{円} \times 10,000\text{通貨単位} \times 1\text{枚} = 1,000,000\text{円}$

必要証拠金 $1,000,000\text{円} \times 4\% = 40,000\text{円}$

レバレッジ倍率 $1,000,000\text{円} \div 40,000\text{円} = 25$ 倍

4万円の必要証拠金で想定元本1,000,000円の取引をした場合(これをレバレッジ25倍の取引といいます)、1円の値動きで1万円(1円×1万通貨単位)の利益又は損失が生じることとなります。

このようにレバレッジ取引は相場が予想どおりに変

動した場合は、少額の証拠金で大きな利益を得られますが、予想に反した場合は大きな損失となります。

FX取引の入門者の方は、十分な証拠金を預託することでリスクを抑え、長く安定的に取引を行うことをお勧めします。

取引の具体例

通常の外貨の売買との違いをみてみましょう。
例えば、ある投資家が1万ドルを1ドル=100円で買い、翌日、1万ドルを1ドル=101円で売った場合を考えます。

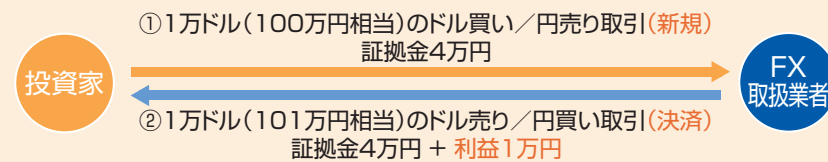
通常の外貨の売買の場合

外貨を購入すると、1万ドルの外貨を受け取る一方、購入代金として100万円の資金を支払わなければなりません。



FX取引(差金決済)の場合

- 1万ドル(100万円相当)の取引金額の4%(レバレッジ25倍)の証拠金4万円を預け、新規に1万ドル(100万円相当)のドル買い/円売りとなる「買い建玉」を保有します。
- 翌日、「買い建玉」を決済するため、1万ドル(101万円相当)のドル売り/円買いの取引を行います。この結果、差額の1万円が利益になるので、100万円の資金を用意しなくても、外貨の売買の場合と同じ効果が得られます。



5 スワップポイント

通貨間の金利差相当額

FX取引は異なる通貨を売買しますが、通貨によって金利は異なります。

一般的に、金利の高い国の通貨の買い建玉を1日保有した場合、スワップポイントを受け取ることができ、逆に売り建玉を保有した場合、スワップポイントを支払います。

例えば、米ドル/円の買い建玉を1日保有する場合、米ドルを買って円を売ることになるため、米ドルの金利を受け取り、円の金利を支払うことになります。

この場合、仮に円の金利が年0%、米ドルの金利が年1.25%とすると、年0%の金利を支払い、年1.25%の金利を受け取ることになるため、この金利差1.25%の1日分のスワップポイントを受け取ることができます。

逆に、米ドル/円の売り建玉を保有する場合、米ドルを売って円を買うことになるため、米ドルの金利を支払い、円の金利を受け取ることになりますので、1.25%の1日分のスワップポイントを支払うことになります。

各国の政策金利〈参考〉

高金利通貨国の政策金利			主要国の政策金利		
国名	レート	政策金利名	国名	レート	政策金利名
トルコ	19.75%	Repo Rate	米国	2.00%~2.25%	Federal Fund Rate
メキシコ	8.25%	Overnight interest rate target	英国	0.75%	Bank Rate
南アフリカ	6.50%	Repo Rate	ユーロ	0.00%	Main Refinancing Operations-Fixed Rate
ニュージーランド	1.50%	Cash Rate	スイス	-0.75%	Target Rate for three-month LIBOR
オーストラリア	1.00%	Cash Rate Target	日本	2016年1月より日銀当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用	

※政策金利と、実際のスワップポイントの算出に適用される金利とは異なります。レートは2019年8月1日時点のものです。

6 買いからも売りからもはじめられるFX取引

売りからも利益を追求できる

FX取引では、通常の外貨の売買のように代金の受け渡しを行わない差金決済のため、手元に外貨がなくても外貨の売りからも取引できます。株式のように「安く買って高値で売る」という取引だけでなく、「高く売って高値で安く買い戻す」ことも可能です。例え

ば、米ドルを120円で売り、その後、円高になった時に115円で買い戻すことにより利益を得られます(※)。

このように円高傾向の場合でも利益を得るチャンスがあります。

(※)手数料やスワップポイントは勘案していません。

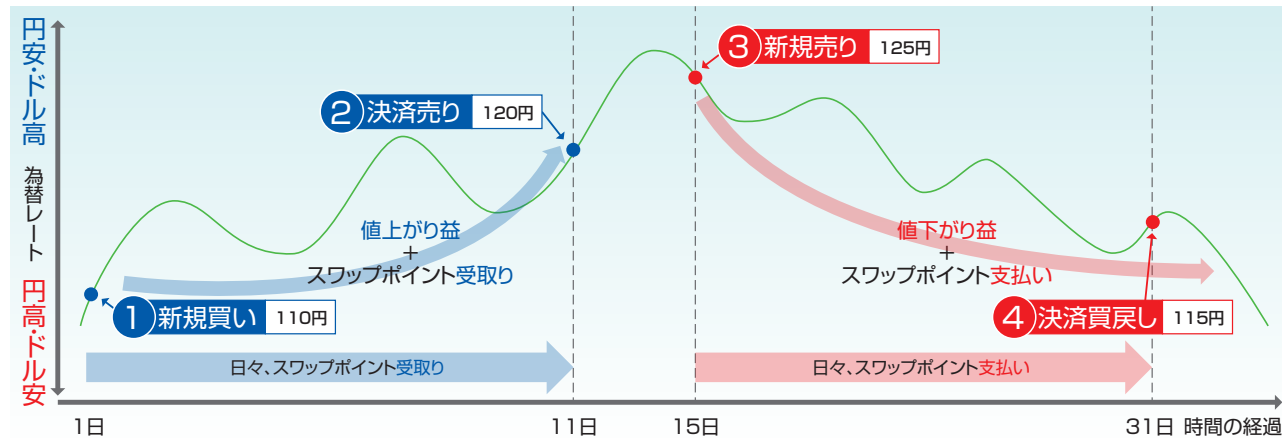
7 ロスカット取引

損失を限定した取引が可能

新規に建玉を保有した後に、相場が予想と反対の方向に動いた場合、損失の拡大を防ぐため、損失額がある一定の水準に達した時点で、保有している建玉すべてが強制的に決済される仕組みのことを、ロスカットといいます。取扱業者は、このロスカットの仕組みを必ず導入しています。ただし、取扱業者によってロスカットのタイミング等ルールが異なりますので、取引を始める際には、内容を確認することが重要です。

FX取引は、ほぼ24時間取引が可能で、為替レートは世界の様々なニュース等に敏感に反応します。日本だけでなく、アメリカやヨーロッパの情勢にも反応し、相場が突然急激に動くこともあります。

ロスカット取引はリアルタイムで投資家の建玉状況をチェックして行われますので、損失を限定する効果が期待されます。



- ① X月1日、将来の円安・ドル高を予想し、米ドル/円110円の時新規の米ドル買い1枚を行った。
- ② X月11日、予想どおり120円になったため、決済の米ドル売り1枚を行った。

当初証拠金残高	200,000円
米ドル/円 スワップポイント	一日あたり30円(※)
為替差損益(a)	(120円 - 110円) × 1枚(10,000通貨単位) = 100,000円(為替差益) {(決済売り価格) - (新規買い価格)} × (取引単位)
スワップポイント(b)	30円 × 10日間 = 300円の受け取り
損益(a)+(b)	100,000円 + 300円 = 100,300円の利益
証拠金残高	200,000円 + 100,300円 = 300,300円 証拠金(当初口座残高) + 損益

- ③ X月15日、将来の円高・ドル安を予想し、米ドル/円125円の時新規の米ドル売り1枚を行った。
- ④ X月31日、予想どおり115円になったため、決済の米ドル買い1枚を行った。

証拠金残高	300,300円
米ドル/円 スワップポイント	一日あたり30円(※)
為替差損益(a)	(125円 - 115円) × 1枚(10,000通貨単位) = 100,000円(為替差益) {(新規売り価格) - (決済買い価格)} × (取引単位)
スワップポイント(b)	30円 × 15日間 = 450円の支払い
損益(a)+(b)	100,000円 - 450円 = 99,550円の利益
取引後証拠金残高	300,300円 + 99,550円 = 399,850円 証拠金(当初口座残高) + 損益

(※)スワップポイントは仮の値です。また、実際のスワップポイントは、日々変動します。

2.取引所FX「くりっく365」の特徴とメリット



1 店頭FXとの違い

金融取は、2005年7月、投資家の皆様にFXをもっと身近に安心して取引して頂くため、国内唯一の取引所FXとして「くりっく365」を上場し、「安心・透明・信頼」をコンセプトに、市場の運営を行っています。

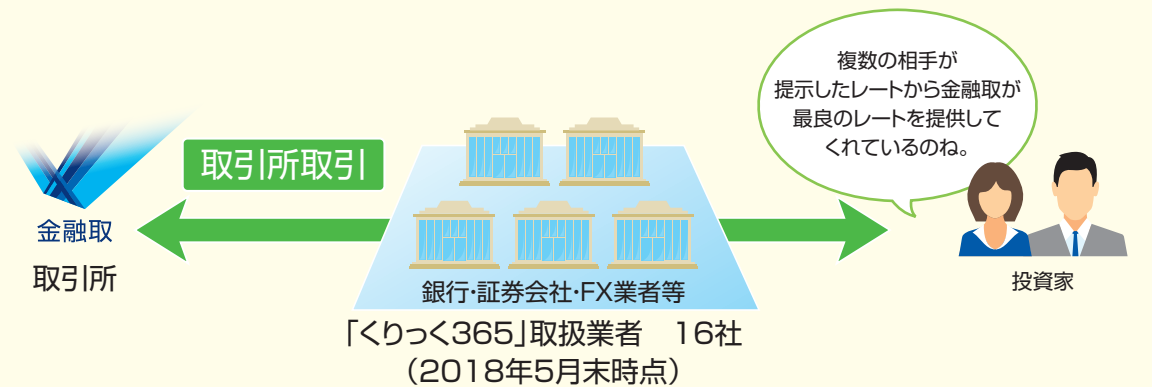
FX取引には、「店頭FX」と取引所FX「くりっく365」の2種類があり、その違いは以下のとおりです。

■ 店頭FX



店頭FXは、投資家が、店頭FX業者を相手方として取引を行う相対取引となります。
店頭FX業者は、業者の裁量で取引レート及びスワップポイントを提示します。

■ 金融取の「くりっく365」



取引所FX「くりっく365」では、投資家は、「くりっく365」の取扱業者を介して、金融取という公的な取引所を相手方として取引を行う取引所取引となります。
取引所取引の場合は、金融取が複数のマーケットメイカーの提示したうちの最良の取引レートを適用しています。
「くりっく365」は、「安心・透明・信頼」の観点から、店頭FXとは異なる商品性や制度を有しており、投資家は安心して取引を行うことができます。

2 「安心・透明・信頼」の「くりっく365」

「安心」

厳格な資格要件を満たした取扱業者を選定

取引所取引の場合には金融取が選定した取扱業者が「くりっく365」を提供しています。
金融取では、法令等による業者登録基準に加え、独自の厳しい資格要件を設けています。

	取扱業者資格要件(一例)	金融商品取引業者要件(一例)
資本金	3億円以上	5,000万円
純資産	20億円以上	—
自己資本規制比率	200%以上	120%

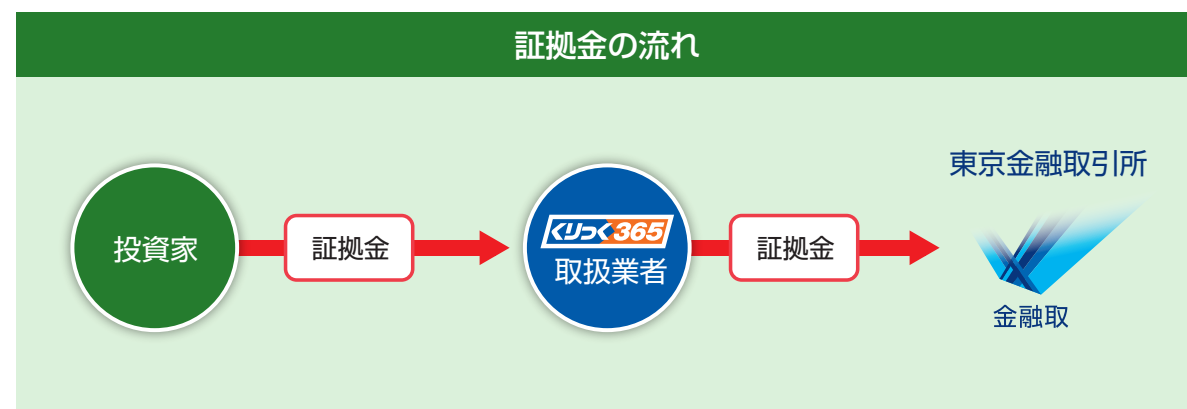
さらに 金融取の自主規制部門が取扱業者をチェック

- 金融取の自主規制部門が「くりっく365」取扱業者をモニタリング
- 金融取は、法令や金融取の規則に反した「くりっく365」取扱業者に対して、自主規制委員会の決議に基づき処分等の措置をとることができます。

投資家の証拠金は金融取が全額保管し分別管理

「くりっく365」取扱業者は、投資家から預かった証拠金の全額を、法令により金融取に預託します。さらに、金融取では、預かった証拠金の全額を、取引所の財産と分別して、保管しています。

- 万一、取扱業者が破綻するようなことがあった場合でも、投資家の証拠金は、原則として全額保全される仕組みになっています。

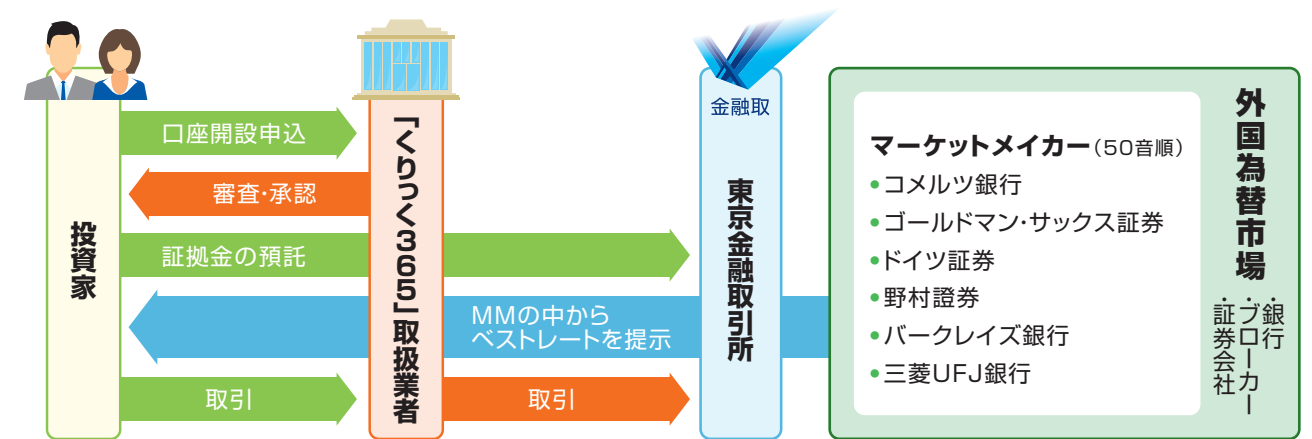


「透明」

透明な価格提供のメカニズム(投資家が実際に取引できる数量も明示)

世界有数の金融機関が有利な取引価格を提示する仕組み

店頭FXは店頭FX業者がレートを提供していますが、「くりっく365」は世界有数の金融機関がマーケットメーカー(以下「MM」)としてレートを提供しています。金融取は各MMから提供される価格の中から、その時点におけるベストビッド(買気配)・ベストオファー(売気配)を取引所システムで自動的に合成し、投資家へ提供しています。また、投資家がどの価格で、どれくらいの数量の取引が可能かをリアルタイムで表示しています。



証拠金の保全

有利な価格提供の仕組み

(例)「くりっく365」におけるレート提示

マーケットメーカー	買気配(数量)	売気配(数量)	スプレッド
A社	109.455 (1,200)	109.480 (1,100)	2.5銭
B社	109.450 (1,700)	109.480 (900)	3.0銭
E社	109.460 (1,100)	109.495 (1,500)	3.5銭
F社	109.460 (600)	109.485 (1,100)	2.5銭

「くりっく365」提示レート(合成後)

買気配(数量)	売気配(数量)	スプレッド
109.460 (1,700)	109.480 (2,000)	2.0銭

スワップポイントは受取額と支払額が同額(一本値)

店頭FXの多くは、同一通貨ペアでの買い建玉と売り建玉のスワップポイントを見ると、投資家にとって受取額より支払額を大きく設定しています。一方、「くりっく365」では、受取額と支払額を同額(一本値)に設定しており、金融取も取扱業者もスワップポイントから差益を得ていません。

「くりっく365」と店頭FXのスワップポイントのイメージ(※)

「くりっく365」	受取額 100円 = 支払額 100円	「店頭FX」	受取額 100円 < 支払額 105円
-----------	---------------------	--------	---------------------

(※)「くりっく365」のスワップポイントについては、全ての店頭FX業者と比較し、常に受取額が多い、または支払額が少ないということではありません。また、全ての店頭FXについて、常に受取額より支払額が大きいということではありません。

「信頼」

公的な取引所が運営する『わが国唯一の取引所FX』

金融取は、金融商品取引法に基づき市場開設の免許を受けた金融商品取引所です。証拠金の保全制度や価格提供の仕組み等の特長を有し、信頼性の高い取引所FXです。

高い約定力(約定拒否・スリッページなし)

MMが提供する数量の範囲内であれば、注文は即座に約定します。注文の約定拒否(リジェクト)がなく、意図的なスリッページの心配がありません。(※)

(※)ストリーミング注文の場合、注文が金融取に到達する間に為替相場が変動し、投資家が設定する許容値幅を超えた場合には約定しません。また、発注枚数がMMの提示する数量を超えた部分については、部分約定となる場合もあります。

3 「くりっく365」の取引振興策(手数料の無料化を実現)

画期的な手数料の無料化を実現

一般的に取引所取引には取引手数料がかかります。しかし、「くりっく365」では、2013年10月より取引振興策を導入し、取引所取引では画期的な取引手数料無料化を実現しました。(※)

これにより、投資家は取引毎に固定的に支払う取引手

(※)全ての取扱業者で手数料が無料化されているわけではありません。

数料がなくなり、取引手数料を気にすることなく取引できるようになりました。

取引振興策や「安心・透明・信頼」を実現するため「くりっく365」のспредはやや広がっていますが、金融取は公的インフラとして投資家にとってのベストを目指し、市場運営しています。

4 「くりっく365ラージ」



手数料は有料でもタイトなспредを重視する投資家のための商品

取引振興策(手数料無料化)を適用している「くりっく365」は、多くの個人投資家から高い評価を得ていますが、一方で、спредを重視する投資家もいます。

金融取は投資家の幅広いニーズに応えるため、手数料は有料ですが、спредをタイト化し、取引単位を10万通貨単位とした「くりっく365ラージ」を上場しました。

取引所FX「くりっく365ラージ」の6つの特徴

- 1 1枚の取引単位は10万通貨
- 2 対円通貨ペアの刻み値は0.1銭
- 3 500万通貨の大口注文も約定可能
- 4 取扱いは主要な5通貨ペア
- 5 取引可能枚数の見える化を実現
- 6 建玉上限なし

	くりっく365ラージ 	くりっく365 
取引単位(1枚)	10万通貨	1万通貨
通貨ペア	5通貨ペア	25通貨ペア
刻み値	米ドル/円 ユーロ/円 豪ドル/円	0.5銭
	英ポンド/円	1銭
	ユーロ/米ドル	1 pips
	手数料	あり ^{※2}
スワップポイント	一本値(受取額と支払額は同額) ^{※3}	

※1 全ての取扱業者で無料となっているわけではありません。 ※2 手数料は取扱業者ごとに異なります。 ※3 「くりっく365」と「くりっく365ラージ」は別商品となりますのでスワップポイントは異なります。

3. 「くりっく365」の概要



1 通貨ペア・取引時間

取引通貨 全30通貨ペアをご用意(くりっく365:25通貨ペア、くりっく365ラージ:5通貨ペア)。



通貨ペア	取引単位(1枚)	刻み値	最小変動幅相当額
● 米ドル/円	1万通貨単位	0.005	50円
● ユーロ/円	1万通貨単位	0.005	50円
● 英ポンド/円	1万通貨単位	0.01	100円
● 豪ドル/円	1万通貨単位	0.005	50円
● スイスフラン/円	1万通貨単位	0.01	100円
● カナダドル/円	1万通貨単位	0.01	100円
● NZドル/円	1万通貨単位	0.01	100円
● 南アフリカランド/円	10万通貨単位	0.005	500円
● トルコリラ/円	1万通貨単位	0.01	100円
● ノルウェークローネ/円	10万通貨単位	0.005	500円
● 香港ドル/円	10万通貨単位	0.005	500円
● スウェーデンクローナ/円	10万通貨単位	0.005	500円
● メキシコペソ/円	10万通貨単位	0.005	500円
● ポーランドズロチ/円	1万通貨単位	0.01	100円

通貨ペア	取引単位(1枚)	刻み値	最小変動幅相当額
● ユーロ/米ドル	1万通貨単位	0.0001	1米ドル
● 英ポンド/米ドル	1万通貨単位	0.0001	1米ドル
● 英ポンド/スイスフラン	1万通貨単位	0.0001	1スイスフラン
● 米ドル/スイスフラン	1万通貨単位	0.0001	1スイスフラン
● 米ドル/カナダドル	1万通貨単位	0.0001	1カナダドル
● 豪ドル/米ドル	1万通貨単位	0.0001	1米ドル
● ユーロ/スイスフラン	1万通貨単位	0.0001	1スイスフラン
● ユーロ/英ポンド	1万通貨単位	0.0001	1英ポンド
● NZドル/米ドル	1万通貨単位	0.0001	1米ドル
● ユーロ/豪ドル	1万通貨単位	0.0001	1豪ドル
● 英ポンド/豪ドル	1万通貨単位	0.0001	1豪ドル

くりっく365ラージ

通貨ペア	取引単位(1枚)	刻み値	最小変動幅相当額
● 米ドル/円ラージ	10万通貨単位	0.001	100円
● ユーロ/円ラージ	10万通貨単位	0.001	100円
● 英ポンド/円ラージ	10万通貨単位	0.001	100円
● 豪ドル/円ラージ	10万通貨単位	0.001	100円
● ユーロ/米ドルラージ	10万通貨単位	0.0001	10米ドル

取引時間

ほぼ、24時間の取引時間。祝日も含め、お好きな時にお取引を。

対円通貨取引

曜日	米国ニューヨーク州 サマータイム非適用期間		米国ニューヨーク州 サマータイム適用期間(※2)	
	プレオープン時間帯(※1)	付合せ時間帯	プレオープン時間帯(※1)	付合せ時間帯
月曜日	午前6:10～午前7:10	午前7:10～ 翌暦日午前6:55	午前6:10～午前7:10	午前7:10～ 翌暦日午前5:55
火～木曜日	午前7:45～午前7:55	午前7:55～ 翌暦日午前6:55	午前6:45～午前6:55	午前6:55～ 翌暦日午前5:55
金曜日		午前7:55～ 翌暦日午前6:00		午前6:55～ 翌暦日午前5:00

クロスカレンシー取引

曜日	米国ニューヨーク州 サマータイム非適用期間		米国ニューヨーク州 サマータイム適用期間(※2)	
	プレオープン時間帯(※1)	付合せ時間帯	プレオープン時間帯(※1)	付合せ時間帯
月曜日	午前6:10～午前7:10	午前7:10～ 翌暦日午前6:25	午前6:10～午前7:10	午前7:10～ 翌暦日午前5:25
火～木曜日	午前7:45～午前7:55	午前7:55～ 翌暦日午前6:25	午前6:45～午前6:55	午前6:55～ 翌暦日午前5:25
金曜日		午前7:55～ 翌暦日午前5:30		午前6:55～ 翌暦日午前4:30

取引時間は、臨時に変更される場合があります。事前に「くりっく365」ホームページ等でお知らせします。また、海外市場の祝日等の理由で取引期間を変更する場合があります。

(※1) プレオープン時間帯には約定しません。

(※2) 米国ニューヨーク州サマータイム適用期間は3月第2日曜日～11月第1日曜日を指します。

2 休業日・証拠金基準額・レバレッジ倍率・税制

休業日

土曜日、日曜日、1月1日。1月1日が日曜日の場合は1月2日。ただし、臨時に休業日を定める場合もあります。

証拠金基準額

証拠金基準額の最新情報は「くりっく365」ホームページ(<https://www.click365.jp/>)に掲載しています。なお、証拠金必要額、入金方法等に関する詳細は「くりっく365」、「くりっく365ラージ」取扱業者にお問い合わせください。

レバレッジ倍率

【個人】レバレッジ25倍方式またはレバレッジ25倍上限HV方式
【非個人】HV方式またはレバレッジ25倍上限HV方式
適用されるレバレッジ倍率等は取扱業者にご確認ください。

「くりっく365」の税制

税制は
申告分離課税で
一律20%^(※)

くりっく株365
(株価指数)や
日経225先物等と
損益通算が可能

3年間の
損失繰越
控除が可能

(※)東日本大震災からの復興財源を確保するため、平成25年から平成49年まで(25年間)、追加的に課税され、税率は20.315%となります。

3 「くりっく365」の取引をはじめするには

金融取が選定した「くりっく365」取扱業者に口座を開設してください。

「くりっく365」、「くりっく365ラージ」取扱業者一覧とその連絡先等の情報については、金融取の「くりっく365」ホームページをご覧ください。

「くりっく365」ホームページ

くりっく365

検索

さらに「くりっく365ラージ」の取引をはじめするには **くりっく365ラージ**

「くりっく365ラージ」をはじめするためには、「くりっく365ラージ」取扱業者にて、「くりっく365」の口座を開設していれば新たな手続きは不要です。ひとつの口座で、「くりっく365」と「くりっく365ラージ」の両商品を取引することができます。

本パンフレットの著作権は、東京金融取引所(金融取)にあります。本パンフレットは金融取が外国為替証拠金取引の説明のために作成したもので、取引の勧誘等を目的とするものではありません。また、法令等により「くりっく365」取扱業者が投資家の皆様に開示すべき全ての事項を含むものではありません。本パンフレットの内容については、正確を期すように努めておりますが、何らかの齟齬があった場合には金融取の規則が優先されます。